



# 平成25年度練馬区区民意識意向調査 結果がまとまる

～練馬区への愛着を感じている方は8割超、

力を入れてほしい施策は、「医療体制の確立」～

区は、区政運営の参考とするため、さまざまな行政課題について区民の考えを伺う区民意識意向調査を毎年度実施している。この度、平成25年度の調査結果がまとまったので、報告する。

今回は、「区の施策および評価」や「地域福祉」などについて、区内在住の20歳以上の方2,500人を対象に調査を行った。区では、今年4月に担当係を新設し、9月には広報戦略基本方針を策定するなど、シティプロモーションに本格的に取り組んでいる。そこで、今後のシティプロモーションの基礎資料とするため、今回、初めて「区民の練馬区への愛着について」の調査も行った。

その結果、「愛着を感じる」「どちらかというと感じる」を合わせて81.2%の方から「愛着を感じる」という回答を得た。また、特に力を入れてほしい施策については、「医療体制の確立」が1位（昨年5位）、「高齢者福祉」が2位（昨年6位）という結果となった。

## 【調査概要】

調査対象：練馬区民2,500人（区内在住の満20歳以上の男女）

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

回収数等：1,019件（回収率40.8%）

調査期間：平成25年7月1日（月）～7月22日（月）

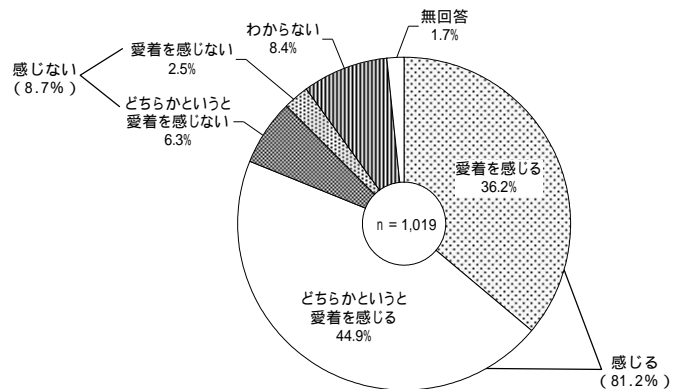
調査項目：「区の施策および評価」、「人権」、「消費活動」、「福祉のまちづくり」、「地域福祉」、「環境」

調査方法：郵送による配布・回収

## 【主な調査結果】

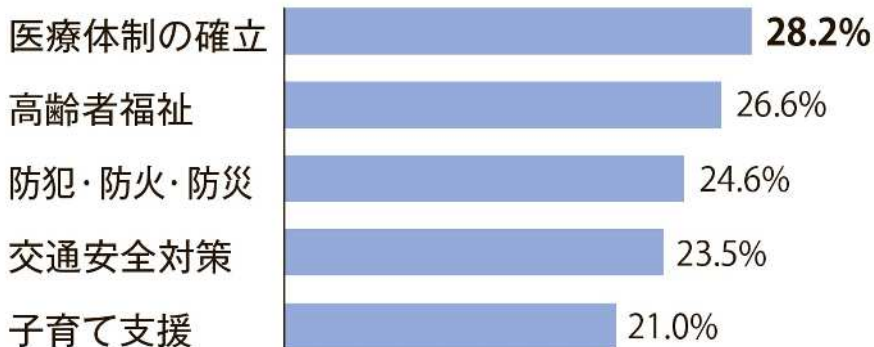
### （1）約8割の方が練馬区への愛着を感じている

練馬区への愛着について尋ねたところ、「どちらかというと感じる」（44.9%）、「愛着を感じる」（36.2%）を合わせ、8割以上が愛着を『感じる』と回答した。一方、「どちらかというと感じない」（6.3%）と「愛着を感じない」（2.5%）を合わせた『感じない』（8.7%）は1割を下回った。



### （2）特に力を入れてほしい施策のトップは「医療体制の確立」

昨年度の調査と比較すると、「医療体制の確立」は5位から1位に、「高齢者福祉」は6位から2位になった。区民の要望に応えられるよう、今後、医療体制の確立や高齢者福祉をはじめ、さまざまな施策に取り組んでいく。



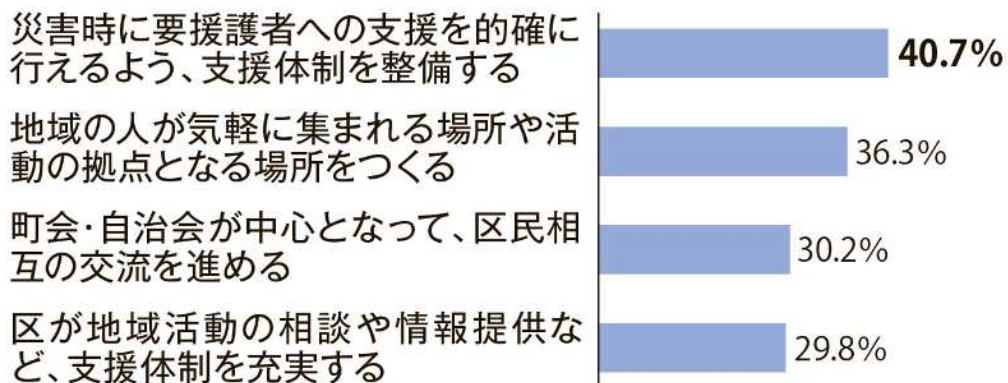
### (3) 互いを理解し、思いやる心を育てる教育が必要

福祉のまちづくりで大切なことを尋ねたところ、4割弱が「互いを理解し、思いやる心を育てる教育」と回答した。心身の状態、年齢、性別にかかわらず、誰もが安心して自由に社会参加でき、多様で快適な生活を選択できるまちの実現を目指していく。



### (4) 災害時の要援護者への支援を求めている

地域福祉のための取り組みについて尋ねたところ、4割が「災害時の要援護者への支援が必要」と回答した。区は本人などからの申請により、「災害時要援護者名簿」を作成するとともに、この名簿を活用した安否確認の仕組みづくりを進めている。



#### 【報告書の閲覧場所】

区ホームページ「区政情報」の「統計・調査」で、調査結果と概要版を掲載。

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/tokei/kuminishiki/h25/index.html>

また、各地区区民館（現在改修中の氷川台・下石神井を除く）、各区民事務所（練馬を除く）、各出張所、各図書館、各青少年館、総合教育センター、男女共同参画センターえーる、区民情報ひろばで閲覧できる。

区民情報ひろば（区役所西庁舎1階）では、報告書を販売（1冊800円）する。

【問い合わせ】区長室 広聴広報課 広聴担当係 電話 03 - 5984 - 4501